

礼拝プログラム

2016年5月1日

司会: 井上兄 奏楽: ボウト姉 通訳: トロフトグレーベン姉

前奏 Prelude

賛美 Hymn

使徒信条 * Apostle's Creed

牧会祈禱 Pastoral Prayer

感謝献金 Offering

メッセージ Sermon

『家に仕え、国に仕える』

Serve our household and country.

賛美 Hymn

頌栄 Doxology

祝禱 * Benediction

* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will translate from Japanese to English. You can have translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: ラッド姉、大野姉

グリーター: メッツ姉、アーリー姉

ナーサリー: 本多姉、大野姉、シーラ姉

来週、8日の礼拝

司会: 倉野兄 奏楽: 大倉姉 通訳: スカーレット姉

メッセージ: 「主の御翼のかげに」

賛美: 新聖歌204、新聖歌349

アッシャー: デイチ姉、テリクス姉

グリーター: 本多姉、ユーツ姉

ナーサリー: スタンクリフ姉、ラスカリス姉、大倉姉

チルドレンチャーチ: テリクス姉、町田兄

お知らせ

本日の礼拝後の予定

コーヒアワー、バイブルスタディー、ユース、
カレーランチ

■今日の礼拝ようこそいらっしゃいました。心より歓迎します。また続けてお越しくください。

■牧師のサバティカルのためにお祈りいただき、ありがとうございました。今週から水曜集会、木曜集会を再開します。

■年度末にあたりこれからの予定です。

5月22日: 役員選挙、

5月29日: 総会資料提出締め切り、

6月12日: 資料配布、

6月19日: 日語部教会総会

■今年の夏期修養会に参加希望な方は英子姉までに申込書をおわたしてください(必要な方は牧師オフィスドアからお取りください)。またチェックはSDJCC宛、メモ欄には英語で Shuyokai とお書きください。締め切りは5月22日です。今年の夏期修養会のバスを予約するために乗車人数を知りたく願っております。今年の修養会にバス乗車を希望される方、また大学施設内の送迎が必要な方、リネンを希望する方(有料:飛行機で来られる方、もしくは65歳以上の方のみ)は八尋ホールのサインアップシートにお名前をお書きください。

今週の予定

2日(月) 連鎖祈禱日

4日(水) 水曜集会 7:30pm-

5日(木) 木曜集会 10:30am-

来客祈禱

『男は怒ったり争ったりしないで、どんな場所でも、きよい手をあげて祈ってほしい』(1テモテ2:8)

かつてアメリカにリバイバル(信仰復興・霊的覚醒)が起きたことがありました。そのただ中にいました牧師、ジョナサン・エドワーズが約800人の男性が集う祈禱会に参加していたところ、そこにある女性から参加者宛に「自分の夫のために祈ってほしい」という手紙が届きました。その手紙には彼女の夫が妻に対して威張り、愛情を示さず、気難しくなっていると書かれていました。

エドワーズはその手紙を読んだ時、祈禱会にその男性が出席しているかもしれないと思い、大胆な祈りのリクエストをしました。そうです、エドワーズは800名の男性を前に、その手紙を読み上げ、もしここにその男性がいるのなら手を挙げてほしい、皆でその人のために祈るからと言ったのです。そうしますと300人もの男性が手をあげました・・・

この度、訪日して書店で目にとまった書物をいくつか仕入れてきました。その中の一つに、まだ読んでいませんが『男という名の絶望-病としての夫・父・息子』(幻冬舎新書)というタイトルの本があります。分かっているつもりでいながら自分のことはよく分かっていないもので、男であるということにはどんなことが伴うのだろうかということを知りたいと思い、また著者が奥田祥子さんという女性のジャーナリストであるということにも興味をおぼえました。

「男が変われば家庭が変わる、家庭が変われば世界が変わる」。そんな言葉を思いめぐらしています。「家を治め、国を治める」、そんな今日のメッセージにもつながるような気がしています。